

2023年5月期・期末連結決算の概要

I. 2023年5月期・期末連結累計期間の概況について

医薬品業界におきましては、国のジェネリック医薬品使用促進策が進められ、ジェネリック医薬品の普及が拡大する一方、2021年度から毎年薬価改定が実施され、医薬品業界の事業環境は厳しいものとなっており、当社としても一層の経営効率化への努力が求められております。

当社グループにおける原薬につきましては、一部既存品目の販売減少及び市場における競争激化等により厳しい状況で推移し、降圧剤原薬、抗血小板剤原薬等の一部ジェネリック医薬品向け原薬の販売は堅調に推移したものの、売上高は18,783百万円（前期比3.6%減）となりました。

製剤につきましては、自社開発ジェネリック医薬品の販売増加、一般用医薬品の販売増加があり順調に推移し、売上高は26,097百万円（前期比10.1%増）となりました。

健康食品他につきましては、市場における競争激化等により、厳しい状況で推移し、売上高は220百万円（前期比21.1%減）となりました。

以上により売上高は45,101百万円（前期比3.8%増）となりました。売上高の増加に伴う利益の増加があったものの、主に円安及びエネルギー資源価格の上昇による原材料費及び電気料金等の増加、並びに減価償却費及び研究開発費の増加等により営業利益は5,207百万円（前期比20.5%減）、経常利益5,169百万円（前期比23.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益3,600百万円（前期比22.9%減）となりました。

II. 連結損益の状況

① 損益実績

(百万円)

	2022年5月期		2023年5月期		対前期比較		2023年5月期 計画		進捗率
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%	金額	%	
売上高	43,464	100.0%	45,101	100.0%	+1,637	+3.8%	44,000	100.0%	102.5%
売上原価	32,005	73.6%	34,770	77.1%	+2,765	+8.6%			
売上総利益	11,458	26.4%	10,331	22.9%	△1,127	△9.8%			
販管費	4,905	11.3%	5,123	11.4%	+218	+4.4%			
営業利益	6,553	15.1%	5,207	11.5%	△1,345	△20.5%	4,500	10.2%	115.7%
営業外収益	205	0.5%	86	0.2%	△118	△57.8%			
営業外費用	29	0.1%	124	0.3%	+95	+327.3%			
経常利益	6,729	15.5%	5,169	11.5%	△1,559	△23.2%	4,600	10.5%	112.4%
特別利益	269	0.6%	12	0.0%	△256	△95.3%			
特別損失	278	0.6%	105	0.2%	△172	△61.9%			
税引前利益	6,720	15.5%	5,076	11.3%	△1,644	△24.5%			
親会社株主に帰属する当期純利益	4,668	10.7%	3,600	8.0%	△1,068	△22.9%	3,200	7.3%	112.5%

* 連結子会社数 3社

(大和薬品工業(株)、Daito Pharmaceuticals America, Inc.、大桐製薬(中国)有限責任公司)

② 品目別売上高

(百万円)

	2022年5月期		2023年5月期		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
原 薬	19,481	44.8%	18,783	41.6%	△697	△3.6%
製 剤	23,703	54.5%	26,097	57.9%	+2,393	+10.1%
健康食品他	279	0.6%	220	0.5%	△58	△20.9%
合 計	43,464	100.0%	45,101	100.0%	+1,637	+3.8%

2023年5月期 決算発表補足説明資料 (2/3)

2023年7月14日
 ダイト株式会社
 (証券コード4577)

Ⅲ. 設備投資の状況

(百万円)

	2022年5月期	2023年5月期	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産の投資額 (発生ベース)	4,956	6,975	+2,019
無形固定資産の投資額 (")	90	48	△41
合計	5,046	7,024	+1,978

主な設備投資の内訳

(百万円)

設備内容	金額	備考
・ 製剤製造設備等	3,186	ダイト 製剤棟の新設
・ 総合研究センターの新設	960	ダイト 総合研究センターの新設
・ 包装製造設備等	809	ダイト 包装設備の増強・更新
・ 製剤製造設備等	406	ダイト 製剤設備の増強・更新

Ⅳ. 減価償却費の状況

(百万円)

	2022年5月期	2023年5月期	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産	3,260	3,811	+551
無形固定資産等	52	59	+6
合計	3,313	3,870	+557

Ⅴ. 研究開発費の状況

(百万円)

	2022年5月期	2023年5月期	対前期比
	金額	金額	増減額
研究開発費	1,749	1,865	+115

2024年5月期・通期連結決算の予想

I. 2024年5月期・通期連結決算予想の概況について

次年度の連結業績につきましては、毎年薬価改定による製品販売単価の下落により厳しい状況となると予想されます。

当社グループにおきましては、原薬では、国内製医薬品原薬に対する需要の増加、また今年1月に第七原薬棟が稼働開始したことに伴い、ジェネリック医薬品向け原薬及び長期収載品の原薬受託製造品の販売増加を見込み、売上は堅調に推移すると予想しております。また、製剤につきましては、一般薬の販売増加がある一方、薬価改定による製品販売単価下落の影響及び取引先の不採算品目の発売中止によりジェネリック医薬品の販売減少を見込み、製剤全体として減少すると予想しております。

コスト面では、主に円安を要因とした原材料価格の上昇による原材料費の増加、電気料金の値上げ等による水道光熱費の増加、生産体制及び品質保証体制強化のための人件費の増加、研究開発費の増加等によりコスト増加を見込んでおります。

II. 連結損益の予想

① 損益予想

(百万円)

	2023年5月期 通期		2024年5月期 通期予想		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
売上高	45,101	100.0%	47,500	100.0%	+2,398	+5.3%
営業利益	5,207	11.5%	4,800	10.1%	△407	△7.8%
経常利益	5,169	11.5%	4,800	10.1%	△369	△7.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,600	8.0%	3,300	6.9%	△300	△8.3%

② 品目別売上高

(百万円)

	2023年5月期 通期		2024年5月期 通期予想		対前期比較	
	金額	%	金額	%	増減額	増減率%
原薬	18,783	41.6%	21,800	45.9%	+3,016	+16.1%
製剤	26,097	57.9%	25,400	53.5%	△697	△2.7%
健康食品他	220	0.5%	300	0.6%	+79	+35.9%
合計	45,101	100.0%	47,500	100.0%	+2,398	+5.3%

Ⅲ. 設備投資の状況 (百万円)

	2023年5月期 通期	2024年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産の投資額 (発生ベース)	6,975	8,300	+1,324
無形固定資産の投資額 (")	48	200	+151
合計	7,024	8,500	+1,475

主な設備投資の内訳 (百万円)

設備内容	金額	備考
・ 製剤製造設備等	3,514	ダイト 製剤棟の新設 ※設備投資総額6,700百万円。
・ 総合研究センターの新設	1,640	ダイト 総合研究センターの新設 ※設備投資総額2,600百万円。
・ 製剤製造設備等	600	ダイト 製剤設備の増強・更新
・ 包装製造設備等	400	ダイト 包装設備の増強・更新

Ⅳ. 減価償却費の状況 (百万円)

	2023年5月期 通期	2024年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
有形固定資産	3,811	3,840	+28
無形固定資産等	59	60	0
合計	3,870	3,900	+29

Ⅴ. 研究開発費の状況 (百万円)

	2023年5月期 通期	2024年5月期 予想	対前期比
	金額	金額	増減額
研究開発費	1,865	2,400	+534

以上